

冬に こころ

題字：佐藤栄一

HANAGOCORO

一字都宮市花と緑のまちづくり推進協議会だより

2020 Vol.39

冬号

WINTER

クレマチス

特集 冬に映えるフライングリースを飾ろう

ちょいグリーン

令和元年度下半期 協議会活動報告

発行：宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5(宇都宮市都市整備部景観みどり課内)
花緑協議会ホームページURL <http://www.utsunomiya-hanamidori.jp>



冬に映えるフライングリースを飾ろう

フライングリースとは、壁掛けのリースとは違い、ぶら下げ式にすることにより色々な角度から見て楽しめるリースです!

準備品

- ・リース土台
- ・常緑樹の枝付き葉
- ・レモンリーフ
- ・輪ゴム (初心者向け)
- ・麻ひも (もしくはリース用ワイヤー)
- ・木の実
- ・実のあるつる性植物
- ・細めの針金
- ・木工用ボンド
- ・整髪スプレー (型崩れを防ぐ)

完成品



常緑樹の枝付き葉

今回はブルーアイス、ヒムロスギ、ユーカリを用意しました。左上に見えるレモンの葉に似たものがレモンリーフです。

メモ

ヨーロッパでは、家の庭に生えた常緑樹なら何でもリースに使います。ツバキ、サザンカ、オリーブ、フェイジョアなど。

手順

上級者であれば、輪ゴムを使わず掌中でまとめながら麻ひもで縛ると、見た目がよいです。

リースワイヤーを使うのが理想ですが、高価です!

- ①常緑樹の枝付き葉を輪ゴムで留めて、1つの**ユニット**を作り、これを15個ほど用意する。

直径20cmのリース (今回使用のサイズ) に対し、15個ほどのユニットで程よく間隔が埋まります。

これを15個。



ユーカリは葉の細い樹種のもの。

ヒムロスギはクリスマスの時期に人気!

ブルーアイス、いい香りです!

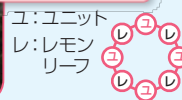
- ②1ユニットを**麻ひも**で2周巻き付ける。
→ユニットとユニットの間にレモンリーフを巻き付ける。
→これを繰り返して、麻ひもを隠すようにリースの円周を葉で覆い、飾り付けていく。



メモ

レモンリーフは乾燥すると綺麗です。元からすべてドライの植物を使うのも美しいです。

間にレモンリーフ。



- ③リースの円周を覆い終わったら、麻ひもを最後に固結びして締める。(最初から最後まで麻ひも1本で結んでいく。)

→隙間ができた部分にはボンドを使って、追加で枝葉を挿し足す。
→木の実の足元に針金をくり付け、それを適宜ボンドで挿し足していく。
→実のあるつる性植物をリース全体に巻き付けて装飾する。



木の実は、沖縄に自生する月桃や、綿の実などがかわいいです。



今回のつる性植物は、ピンクペッパー。

メモ

室内の場合、北側に置くなど、なるべく日に当たらないようにすると1か月ほど保ちます。冬の間は、ぜひ、ひと月に1つ作ってみては。

- ④**吊るす用の麻ひも**を適当な3箇所に結び付ける。(今回は4箇所付けました。)
→型崩れを防ぐため、仕上げに整髪スプレーを掛けて完成。



メモ

リースは、作った面を表面として、表を下向きにして飾ります。裏面まで飾り付けるように結んでいくとなお華やかになります。リースの枠は手で曲げて、だ円形にしてもかわいいです。

今回御協力いただいたのは・・・「Gardenうさぎ」 宇都宮市長岡町1207-7



まちの素敵な 緑のスポット

ちょいグリーン

皆さんからの情報をお待ちしております。情報は事務局まで！



今回は、新里町にあるラーメン店「花の季」をご紹介します。取材のきっかけは、以前食事した際にラーメン屋さんとは思えないきれいなお庭を拝見したことです。今回は女将の磯しのぶさんにお話を伺いました。

ラーメン屋さんとしては、豚と鶏を主体としたスープと、自家農園で作った野菜を具材に用いている「自然派」ラーメンを謳った人気店です。



おすすめのタンメン



お庭のヤブコウジと葉ボタン



自転車でポインセチアを演出



花壇のゼラニウムも今季は終了です



あけびのふじ棚

さて、本題であるお庭のお手入れについて何うと、とにかく「自然のまま」がテーマであるとのことでした。つまり、「自立型」の野性味を帯びた庭です。管理はせず、「人間は自然に生かされている」という考えのもと、刈り込まず、かわいく装飾することに留めていらっしゃいます。

店舗自体の装飾についても、極力手を加えずに季節を表現することを心掛けておられます。取材日の店内には、クリスマス为主题的木工クラフト品が多く置いてありましたが、電飾は施しておりませんでした。

その姿勢は、「自分の性格を押し付けない」という子育ての方法論に似ていました。

実際に、訪れるお子さまたちやお客さまには、「花は折らずに大切にすることのほかは何も押し付けたり注意することはせず、見て触ったり、嗅いだり、感じたまま自然のままを味わってもらっているそうです。



紅く染めた広告紙の花瓶
(お客さま作製)

店の正面横の軒先には、お食事を食べ終わったお客さまに、そこでハーブ水を飲みながらリラックスしていただくためのテラスが設けられています。創造力が必要となっていく時代に合わせて、お客さま同士の交流を図っていただくために、開店当時はなかった交流スペースとして用意したそうです。

その他にも、女将さんは、レオナルド・ダ・ヴィンチの水にまつわる格言や、ガリレオ・ガリレイの建築方法論などをお話しくださり、また、営業の合間を縫って農務の専門学校に通われたこともあるなど非常に博識でいらっしゃいます。

お庭もラーメンも、完成することはなく、日ごとの味わいも異なるとのことです。取材の翌週も料理の見聞を広めるため、単身フランスに行く女将でした。



店内のクリスマス装飾
(この他にもありました)



テラス



テラスから見える位置に、
子ども用の輪投げ遊具



取材日は自家農園で大根掘り
(1月～提供の漬け物用)

取材協力
「花の季」
宇都宮市新里町1606-13

令和元年度下半期 協議会活動報告

もりのめぐみツアーを実施しました!

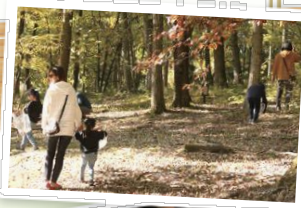


令和元年11月10日(日)、篠井町の子どもの森公園 冒険活動センターにて、「もりのめぐみツアー」秋の部を実施しました。午前中はかまどを使って、参加者親子でピザとシチュー、焼きいもの調理をしました。できあがった料理を子どもたちがあっという間に平らげていました。



午後の部は、花工房ひまわり畑の板橋由理さんを講師に迎え、自然の中での散策、また、散策しながら拾った落ち葉や木の実、枝を画用紙に貼り付けて絵画作りを行いました。子どもたちそれぞれの感性が光る独創的な作品たちが生まれていました。

気候の良い晴れた秋空の下、空気のおいしい森の中で、有意義な一日となりました。



視察研修会

10月21日

記者養成講座の卒業生である「花いっぱいレポーター」による取材やホームページの記事掲載により、協議会の活動が身近に感じられるような効果的なPRを図ってい

視察先：かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会(座学)
日比谷公園ガーデニングショー

令和元年10月21日(月)、葛飾区役所内にある、かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会と、日比谷公園ガーデニングショーを視察してきました。

かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会では、区民参加型の花壇活動を推進しており、区民の皆さんが維持管理する花壇を賞するコンクールなどを行っております。

まずは午前中に、協議会が管理する自動灌水装置を内蔵した「フラワーメリーゴーランド」や「緑と花のいこいガーデン」(屋上緑化見本園)を見せていただき、その後活動内容のご説明をいただきました。こちらの協議会は、葛飾区役所との連携が素晴らしく、区で行っている

ます。(https://www.hanaichi-katsushika.jp/にて、今回の視察も記事になりました。)

午後は日比谷公園のガーデニングショーに向かい、自由見学の時間を持ちました。園内は、ガーデン部門、コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門と分かれており、宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会でも取り組んでいるハンギングバスケット1つを取っても展示数が多く、非常に華やかでした。

見聞を大いに深められる有意義な視察研修となりました。



参加者全員で記念撮影



緑と花のいこいガーデン
(葛飾区役所屋上)



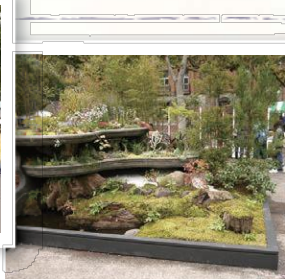
フラワーメリーゴーランド
(葛飾区役所)



ハンギングバスケット展示
(日比谷公園)



日比谷公園入口

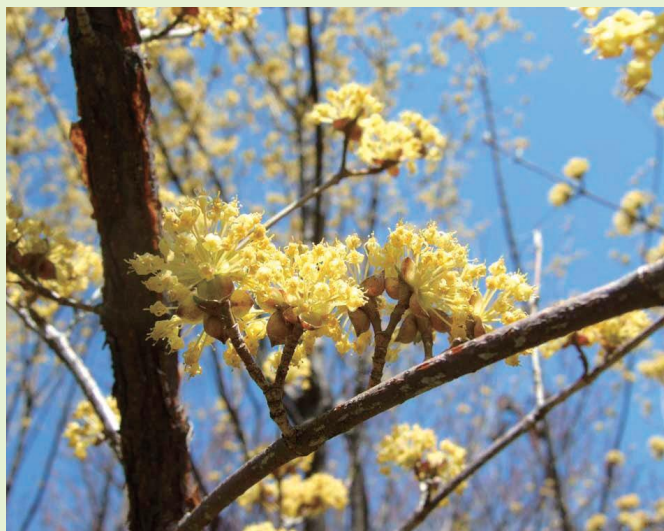


庭園の展示もありました
(日比谷公園)

園芸研究家

山さんの花コラム

テーマ **サンシュユ**



早春に黄色い花をつける花木は多いが、2月末から咲き出す早さと、高さ3、4メートルの全枝を覆い尽くす明るい色とその賑やかさは爽快です。一つの花は見えないほど小さいのですが、20個ほどの小花が半球状となり一つの花のように見えます。

朝鮮半島中北部と中国浙江省に自生があると言われて、日本へは江戸中期に果実を薬用として輸入されたのが始めのようです。秋に紅熟する長さ1.5センチほどのグミのような果実は乾燥して焼酎漬けや煎じて強壮、強精、健胃剤となるようです。

へ庭のさんしゅの木成る鈴かけて、と唄われる、昭和時代に流行した宮崎県の民謡「稗つき節」が、これかと思ったのですが、源平時代の悲恋物語で、サンシュユの到来とは時代が合わず、物語りの当て外れ、後に辛みのサンショの方言だと聞きました。

小高木ながら株立ちの性質で、枝の伸びは旺盛、花後の剪定で形を整えますが、根元近くから育ちの旺盛な枝も立ち上げるので、これを嫌って全部整理していると、逆に育ちはひどく抑えられます。狭い庭や街路樹などで老木状態を見かけるのはそのためのもので、根元枝を1、2本仕立てるとたちまち復活します。

挿し木は困難、接ぎ木も小枝を地面まで倒して根を接ぐ方法でなければ着かず、実生も開花まで数年かかるなど、苗の流通も影響してか意外に見かけませんね。

山さんのご紹介

山中昭雄氏

園芸研究家。宇都宮市在住。

「まちなかハンギングバスケット大作戦」を実施しました!



令和元年9月7日(土)、栃木県立宇都宮白楊高等学校と宇都宮市緑化ボランティアの皆さんに協力をいただきながら、オリオンスクエアにて今年度2回目の「まちなかハンギングバスケット大作戦」を実施しました。

前回のベゴニアに引き続き、今回はフォーチュンベゴニア(球根ベゴニア)を取り入れました。赤色、オレンジ色、黄色、ピンク

色、白色など、色とり

どりで目の覚めるような発色でした。葉もののアルテルナンテラとヘデラが、花の周りをドレスのように取り囲みバスケットをより素敵な仕上がりにはしていました。

季節は秋に差しかわろうとしていましたが、これらのハンギングバスケットが、街なかをうきうきするような色合いに装飾してくれていました。



花緑協議会 会員紹介 第34回 横川エコの会



私達「横川エコの会」は地球温暖化防止と資源再利用における循環型社会の構築に向け京都議定書の理念を念頭に地域への啓蒙啓発を目標として活動を始めました。当会活動の緑のカーテン事業は、当初夏の強い陽射しを遮り日陰を作る事でエアコンなど電力の省エネを目標に横川地区市民センターをはじめ小学校や公共施設にゴーヤ苗を植付けグリーンカーテンの設置をしました。事業を続けている内に「青々とした葉も良いですが、実ったゴーヤも楽しみにしています」とのご意見から、花が咲いて実がなって緑の葉がフレームを覆うものとしてキュウリやマクワウリやパッションフルーツも素材に加えました。横川エコの会では、地域内の牛舎(宇都宮牛の)から出る牛糞や米ぬか・残飯それに学校給食の残菜などを提供いただき、2



坪程の堆肥場では有機肥料を作っています。地区内の育成会や住民の方に配布すると共に、春と秋に交番や・施設やロータリーなどの当会プランターなどに花苗を植栽する際に使用しています。

今後とも地域の人達と共に、横川地区の緑化と花のある街作りに貢献したいと思って活動して参ります。御協力・ご助言、宜しくお願いいたします。



横川エコの会 会長 大垣講一

花緑情報カレンダー

1 月

花いっぱい協賛事業(春の部)

会員が地域で行う緑化活動を助成し、花や緑いっぱいのまちづくりを応援します！
申込み受付を開始しておりますのでご応募をお待ちしております。

2 月

2月2日(日) 会員研修 春に向けてのバラのお手入れ

講師：古口 修二さん
時間：午前10時～正午
場所：宇都宮市役所14階 14大会議室

2月下旬 パンジー・ビオラで花いっぱい！

福祉施設で生産した花苗を会員の皆さまに配付します。
地域の緑化にお役立てください。
※申込期限は1月17日(金)です。

冬号 花緑クイズ

正解者5名の方に「2,000円分の花と緑のギフト券」をプレゼント。奮ってご応募ください！(応募者多数の場合は抽選)

間違いの数はいくつあるでしょうか？

① 3つ ② 4つ ③ 5つ

応募方法：①クイズの答え、②住所、③氏名、④電話番号、⑤「花ごころ」を読んだ感想をご記入の上、「〒320-8540 宇都宮市役所景観みどり課内 花緑協議会事務局」あてに、ハガキ、FAX、Eメールでお送りください。
令和2年6月末日締め切り。
※当選者発表は、発送をもって代えさせていただきます。



クイズ制作者：宇都宮メディア・アーツ専門学校 ビジュアルデザイン科1年 甲斐田 優花さん

編集後記

冷え込みも厳しくなり、落葉樹も葉が落ちて、ひなたの温もりに癒やされる季節になりました。皆様もお風邪など召されませんように！ ご自愛ください。(たか)

花ごころに携って丸2年がたちます。令和に元号が変わったり、月日の早さをひしひしと感じる32歳。(しの)

毎年冬になると、日本庭園の雪吊りの景色が楽しみの一つになっています。職人さんがきれいに施した雪吊りは冬の風物詩ですよね。(さと)

ラグビーW杯では桜のジャージのブレイブブロッサムズが感動を与えてくれました。春には本物の桜の季節が来て、夏には東京オリンピックです。日本人で良かったー！(おぐ)

まちも、心も、花いっぱい！ 花緑協議会会員募集中 事務局まで

会員数

151 団体
251 個人

(令和元年12月末現在)

会員特典

- ① まちを彩るための花苗の提供を受けられます。
- ② フェスティバルへのブース出展や、視察研修会などに参加できます。
- ③ 花いっぱいの緑化活動への助成が受けられます。
- ④ 会報誌など、各種情報の提供を受けられます。

年会費

団体会員⇒ 3,000円 個人会員⇒ 1,000円

問い合わせ先

〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1-1-5
宇都宮市都市整備部景観みどり課内

宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会事務局

TEL 028-632-2593

土・日・祝を除く
8:30～17:15

FAX 028-632-5219

Eメール: info@utsunomiya-hanamidori.jp